



JABEE 事務局ニュース No. 8

2010年10月15日

1) 2010年度審査

2010年度の審査は、審査員研修会が8月に実施された後、10月3日から12月7日にかけての実地審査がはじまりました。本年度も同一校複数プログラムの審査の調整には関係する皆様に色々ご配慮いただきお手数をおかけしていますが、複数プログラム同時審査についての問題点を把握し次年度以降に活かすことを目的に、認定・審査調整委員会からオブザーバーを派遣することになりました。日程の関係から今回は4校に同委員会からの委員がオブザーバー参加をします。

なお、2009年度審査の事務処理は、残すところJABEE事務局による修了生数調査だけとなりました。審査員の方々、各分野の分野別審査委員会、JABEE各委員会および各学協会事務局の皆様のご尽力に心より感謝いたします。

2) 専門職大学院

専門職大学院の認証評価はJABEEが認証評価機関になって今年度が最初の年です。認証評価委員会から委嘱された評価チームが、申請専攻から提出された自己評価書・追加資料等に基づいて書面調査を実施した後、10月上旬に2日間の実地調査を行いました。

3) 2012年度基準改定案へのパブリックコメント（意見公募）

2012年度の適用開始を目指して作業を進めているワシントン協定対応認定基準案について8月23日を提出期限としてパブリックコメントを実施した結果、101項目のコメントをいただきました。現在、これらのコメントに基づいて基準案の推敲を進めています。

同じく、2012年度の適用開始を目指しているソウル協定対応認定基準案については、内容がワシントン協定対応基準とほぼ同じとなりますので、関連分野に対してのみパブリックコメントを実施します。

基準の最終案は、12月20日の理事会で審議します。

4) ソウル協定

ソウル協定設立当初の6加盟団体の相互審査のために、JABEEの報告書をソウル協定事務局に送りました。審査は書類審査で行われます。JABEEに対する審査はABEEK（韓国）、ABET（米国）、HKIE（香港）が担当します。一方、JABEEはBCS（英国）、CIPS（カナダ）に対する審査に加わります。審査結果は2011年6月18、19日、台北で開催される総会で審議されます。

5) NABEEA 理事会、総会

NABEEA (Network of Accreditation Bodies for Engineering Education in Asia)の第7回理事会、第4回総会、ワークショップが10月4～5日の2日間バンコクで開催されました。山本国際委員、青島専務理事・事務局長が出席しました。

アジアの技術士会の集まりである FEIAP(Federation of Engineering Institutions of Asia and the Pacific)の Engineering Education Working Group が技術者教育認定のアジア版ガイドラインを作っていますが、この EE Working Group を常設の「Standing Committee on EE」にし、その下に「Monitoring Committee on EE」を作ることが決まったとのことです。この動きと技術者教育認定機関の集まりである NABEEA の役割が重複しており、理事会では大きな議論になりました。今後の課題です。

以上

JABEE 事務局ニュースは社員（正会員）、賛助会員、理事、監事、顧問、委員会委員宛に発信しています。同じものを JABEE のホームページにも掲載しますが、みなさんから関係者に転送して情報のより広い共有をしていただければ幸いです。